

令和二年度

宮崎国際大学一般入学選考前期日程

【国際教養学部】

試験問題

国語

受験番号
氏名

# 令和二年度 国際教養学部 一般入試 前期日程

一 次の各問いに答えなさい。解答は各問いの選択肢①～④から選び、記号を解答用紙に記入しなさい。ただし、問〇一は漢字で答を書きなさい。

問〇一 「国籍取得にはハンザツな法的手続きが必要だ」の「ハンザツ」を漢字二字で書け。

問〇二 「今のまま石油を使い続けると資源枯渇はヒッシの状態だ」の「ヒッシ」に当てる最も適当な漢字はどれか。

- ① 逼死
- ② 必死
- ③ 必至
- ④ 逼至

問〇三 「詞華集を耽読する」の「耽」と同じ読みの漢字熟語を持つ文はどれか。

- ① 浮生夢の如し
- ② 盛んな抗議行動
- ③ 嘆声を洩らす
- ④ 深海に沈没した

問〇四 「始発／終着」と同じ関係になる最も適当な組み合わせはどれか。

- ① 従順／凶暴
- ② 通史／国史
- ③ 発火／鎮火
- ④ 逸脱／参与

問〇五 次の四字熟語の組み合わせのうち、すべて漢字が正しいものはどれか。

- ① 自家撞着・捲土重来・獅子奮迅・融通無碍
- ② 毀誉褒貶・欣喜雀躍・阿諛追従・曖昧模糊
- ③ 非難中傷・眉目秀麗・熟読玩味・亡然自失
- ④ 左顧右盼・隔靴搔痒・純心無垢・輕佻浮薄

問〇六 漢字「横」を含む熟語のうち、この漢字の意味が他と違うものはどれか。

- ① 横暴な政治を改める政治家を望む
- ② 政治は腐敗墮落し不正が横行する
- ③ 気力が充実し活気が横溢する
- ④ 義兄の死後その財産を横領する

問〇七 「正しく読むためにはユルやかに読まねばならぬ。決して急いではならぬ。その本から学ぶためにも、その本を批評するためにも、その本を楽しむためにも、ユルやかに読むことが大切である」(三木清「如何に読書すべきか」より)のカタカナを漢字に直した時、同じ漢字を含むものはどれか。

- ① 余裕のある態度で名人との対戦に臨んだ
- ② 悪しき生活習慣は緩慢な自殺行為である
- ③ 寛容の精神を忘れず曲直理非を判断する
- ④ 遅疑逡巡の末、履歴書を出すことにした

問〇八 次の文章に標題を付けるとすれば、どのような標題が最も適當か。

ところでかように自分自身の読書法を見出すためには先ず多く読まなければならぬ。多読は濫読（らんどく）と同じでないが、濫読は明かに多読の一つであり、そして多読は濫読から始まるのが普通である。古来読書の法について書いた人は殆どすべて濫読を戒めている。多くの本を濫りに読むことをしないで、一冊の本を繰り返し返して読むようにしなければならぬと教えている。それは、疑いもなく真理である。けれどもそれは、ちやうど老人が自分の過去のあやまちを振り返りながら後に来る者が再び同じあやまちをしないようにと青年に対して与える教訓に似ている。かような教訓には善い意志と正しい智慧とが含まれているであろう。しかしながら老人の教訓を忠実に守るに止まるような青年は、進歩的な、独創的なところの乏しい青年である。（三木清「如何に読書すべきか」より）

- ① 老人の教訓
- ② 進歩的独創的な青年
- ③ 自分自身の読書法
- ④ 多読と濫読

問〇九 「苦心して詩文等を練り上げること」を意味する四字熟語はどれか。

- ① 苦学力行
- ② 汗牛充棟
- ③ 彫心鏤骨
- ④ 粉骨碎身

問一〇 四字熟語「因循姑息」の意味として最も適當なものはどれか。

- ① 問題の根本的解決を避け小手先の手直ししか行わないこと
- ② 同じまちがいを何度も繰り返し返して進歩が認められないこと
- ③ これまでのやり方を改めずその場しのぎの策を弄すること
- ④ 美しく魅力的な外見だが若々しさや生氣には欠けること

問一 「物事に熱中しすぎることを意味する表現はどれか。

- ① 満を持す
- ② 病膏肓に入る
- ③ 自家薬籠中の物
- ④ 飛ぶ鳥を落とす勢い

問二 次の文のうち、傍線部の表現の使い方が不適切なものはどれか。

- ① 議論で相手を言い負かして溜飲を下げるなどという卑しい行為は、心が広いと自称する人間のすることではない
- ② 威儀を正そうと努める山田の話し方が気になるが、あるいは私が気にさわるような事を言ったのかもしれない
- ③ 水を差す意図を推測させる君の妄言であるの仲の良かった田中さんと山田君が別れたといううわさを聞いた
- ④ いつもながらの取り付く島もない不機嫌な対応を見ていると田中さんと親しくする人がいないのも頷ける

問三 次の文のうち、傍線部の漢字熟語を正しく使っているものはどれか。

- ① 画家を齟齬する編集者にはカサにかかった態度をとるものも多かった
- ② 立場の弱い著述家には編集者の頓使を拒絶することは許されなかった
- ③ 言葉に現れる微妙な要諦に捉われ過ぎるのが弱小文筆家の弊害である
- ④ 流行を作る華やかなジャーナリズムにも陰湿な権力の暗礁が存在する

問四 「ひどく痛めつけられること」という意味の四字熟語として最も適当なものはどれか。

- ① 意気軒昂
- ② 氣息奄々
- ③ 臥薪嘗胆
- ④ 満身創痍

問一五 「去年の秋、朝日新聞の「音楽展望」で、子どもの時『カルメン』の闘牛士の歌がハモニカで吹けるようになってうれしかったことを書いた文章、すばらしかったですね。やはり文章の名人は違うと、（ ） 思いました」（丸谷才一の文章による）の（ ） に入れる最も適当な言葉はどれか。

- ① 音をあげる
- ② 理にかなう
- ③ 舌を巻く
- ④ 半畳を入れる

問一六 熟語の漢字がすべて正しいものはどれか。

- ① 奉腹絶倒
- ② 古色騒然
- ③ 才気間髪
- ④ 断簡零墨

問一七 （ ） 内の言葉の使い方が最も適当なものはどれか。

- ① あれは（雲をつかむような話）で全くあてにはならない
- ② 取材依頼を（奇をてらう）事もなくやんわりと断られた
- ③ 政治の話になると（けんもほろろに）熱弁をふるう男だ
- ④ 変装を見破られた今、髪型で（糊口をしのぐ）必要もない

問一八 次の文章の空欄（A）・（B）・（C）・（D）・（E）に入れる言葉の組み合わせで最も適当な組み合わせはどれか。

「読書にも年齢があり、（A）は古典的なものを好み、（B）は新しいものを求めるというのが普通である。（B）が新刊書を喜ぶということはその（C）の旺盛を示すものであって排斥すべきことではないが、しかしそこにはまた単なる好奇心の虜になる危険もあるのである。古典のために新刊書を（D）することなく、新刊書のために古典を（E）することのないようにするのが肝要である。」（三木清「如何に読書すべきか」より）

- ①（老人）・（青年）・（知識欲）・（軽蔑）・（忘却）
- ②（高齢者）・（若年層）・（向学心）・（理解）・（無視）
- ③（学究）・（ジャーナリスト）・（職責観念）・（等閑に付）・（ネグレクト）
- ④（中老年）・（若者）・（向上心）・（過小評価）・（過大評価）

問一九 四字熟語「（ ）学阿世」「舞文（ ）筆」の空欄（ ）に共通に入る漢字はどれか。

- ① 回
- ② 折
- ③ 曲
- ④ 直

問二〇 「人間万事塞翁が馬」と近い意味のことばはどれか。最も適当なものを選べ。

- ① 果報は寝て待て
- ② 終りよければ全てよし
- ③ 禍福はあざなえる縄の如し
- ④ 雨降って地固まる

問二一 「采配を振る」の使い方として最も適当なものはどれか。

- ① 采配を振る芽を摘む類の過失を重ね長年従事する商売の不振を招く
- ② 外国に出る時は采配を振る適当な時期を心得ておかなければならない
- ③ 実戦の経験に乏しい人が監督として試合の采配を振るべきではない
- ④ 旅は人生の最良の学校だという古言の真実に深く采配を振る思いだ

問二二 熟語「杞憂」の使い方として最も適当なものはどれか。

- ① 優雅な物語が多く書かれた事実が時代の杞憂を理解する手掛かりだ
- ② 産業革命が世界史にもたらした否定的な杞憂も見逃してはならない
- ③ 辣腕の刑事の定年退職で懸念された犯人確保の難航も杞憂に終わった
- ④ 松尾芭蕉「奥の細道」を慕って今も俳聖の杞憂を辿る人が絶えない

問二三 「ヒアリング」の意味の説明として最も適当なものはどれか。

- ① 事故などの発生時に利害関係者から事故関連の事情を聴取すること
- ② 運送業界などで使用される正確な配達時間を自動的に告知する装置
- ③ 一定期間の大体の支出を計算して前以てある金額を預けておくこと
- ④ 先進国が生産しすぎた工業製品を中進国などに安く販売すること

問二四 傍線部のカタカナ語を正しく使っているものはどれか。

- ① 歩道や車道などにインフォームドコンセントの概念を導入する必要性を論じる
- ② シミュレーションを重ねた未来の姿をもとにどんな学生生活を送るかを考える
- ③ 酸性雨の影響の解明には原因物質の排出量のデリバリーを行うことが必要である
- ④ 複雑化した社会に生きる現代人はユニバーサルデザインの危機に晒されている



問二五 カタカナ語「デフォルト」を正しく使っているものはどれか。

- ① うまく作動しない時には一旦デフォルトの状態に戻すことにしている
- ② 昨日アメリカから帰ってきたばかりなのでまだ体がデフォルトである
- ③ この際政治的なつながりを利用してこの大きな取引をデフォルトしたい
- ④ 有機排水を安全にデフォルトする法律がない国を対象にすることはできない

二次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答は問いの選択肢①～④から選び、記号を解答用紙に記入しなさい。ただし、問〇三は漢字で答を書きなさい。

**大野** \*英語教育を小学校に持ち込もうということは、基本的に大きな問題を含んでいると思います。英語を教えることがあると思つて小学校の先生になった人が何人いますか。英語の分かる小学校の先生のパーセントを文部省はまず示す必要がある。また、子供のときから英語をやったからといって、日本で英語の何ができるようになるのかということ。中学校から国語と英語を週三時間ずつやつて大学生になったらバイリンガルになるだろうという。言語というものをそう生半可に考えてはだめです。

日本ではA漢文というやっかいなものが、いまから一二〇〇～一三〇〇年前にはいつてきたわけです。それをやらなければ日本は文明に追いつかないということ。当時は本は貴重品だったから、それを読むためにできる人たちが選ばれて、皆必死で勉強して、何とかして日本語で日本人が漢文をわかるための努力をした。その結果、漢文と日本語とは文法が違うから、ひっくり返して読むということを発明したのです。ふつう読むということは発音の順に読むわけです。それを順序を変えて読むなんていう世界中でも例のないことまでやつて、日本人は何か一〇〇〇年の間、漢文を消化しようとやつてきた。

英語も語順は中国語とほとんど同じですから、目的語は後ろに、動詞は前にくる。日本語とは発音の仕組みから、文法構造、単語まで全部違う。たとえばBドイツ人が英語をやると、自分たちがふだん使っている単語と近いものがたくさん出てくる。それに文の構造もほとんど同じです。それでも向こうでは自国語に五時間、六時間かけて、外国語には三時間かけているのです。

日本で、日本語を三時間にしてしまつて、英語も三時間勉強すればできるようにな

ると思っていたらまちがいだ。ちゃんと耳で聞くことも大事だけれども、字もちゃんと読んで書けなければならない。コンチワ、サヨナラが英語で言えれば英語ができたことになりませんか。せいぜいが単語を覚えて日本語の中にまげてC得意げになることくらいでしょう。そのために、日本語の時間を削っていいか。僕は英語は選択制にすべきだと思う。義務教育だからといって全部にやらせずに、やりたいというものにはやらせて、そのかわり三時間では絶対間に合わないのだから、しかるべき方策を考えて、もっと時間をとつてもいいというふうにすべきです。何でもかんでもおしなべて英語を少しばかりやっていればできるようになるだろうというのはまちがいです。これをやるのは時間のロス以外にないと思う。

**上野** おっしゃるとおりだと思います。総合的な学習の時間を使って、国際理解という名のもとに英会話教育をやるというのが一部で流行っていますが、おかしなことではないかと思えます。

とくに日本の英語教育では、中学、高校で六年間、大学に入ってから二年はやりますから八年間やったけれども、ちつとも英語がしゃべれないというので、もつと英会話教育をきちんとやらなければいけないという風潮があると思います。それは違うのではないか。D英会話教育をやったからといってしゃべれるようになるというのは少し違うような気がします。

これは岩波新書の『英語とわたし』に少し書かせてもらったのですが、数学に限らず自然科学だったらほとんど英語が共通のことばです。昔の中国文化圏でいえば漢文、中国文で書けば、みんな話せなくてもみんな意思を通じることができた。それと同じように英語で論文を書けばみんなが読める、言っていることがわかるという意味で、英語は共通語です。

実際にE国際的な学会にいけば、ほとんどの場合は英語でお互いに意思を通じさせるわけですが、みんなそれぞれのお国なまりでしゃべるわけです。当然日本人だったから日本語なまりの英語だし、ドイツ人だったらドイツ語なまりだし、ロシア人はロシア語なまりの英語で、それでも別に困らずにしゃべっている。まあまあちゃんと通じる。基本的にはもともと話し言葉というよりも書き言葉をもとにして話しているという感じだと私は思うのです。

おまけに、いまのインターネットの時代は、コンピュータの上に出てくるのは話したことばではなくて文章です。そうすると、私たちに必要な英語教育としては、英会話よりはむしろ英語の文章を読むことと、もうひとつは簡単な手紙などを英語で書ける必要があるから、読み書きがほんとうは大事なのではないか。昔の英語教育はまさに

英語の読み書きだったのですが、そちらのほうがほんとうは正当だったのではないか。私自身はほとんど読み書きの教育を受けてきましたから、リスニングはすごく弱いのです。弱いのですが、リスニングというのは徹底的に半年ぐらい訓練したら、基礎さえあれば何とかなります。そういう意味で、小学校の時から文法の構造がまったく違うことを教える必要があるのだろうかと思います。

ただ、世界中には、日本語だけでなくいろいろなことばがあるのだという意味で、少しかじるのはいいかもしれない。それだったら別に英語に限らず、お隣の韓国とか中国とか、ロシアのことばを少し学ぶことだって大事だろうと思います。日本人であれば、昔からの文化的なつながりを考えるのだったら、中国語をやるほうがほんとうは自然なような気がしないでもない。

ですから、できれば外国語一つは何らかの意味でみんな学ぶようにしておいたほうがいいのではないかと私は思います。ただ、それがF英語である必要はないと思いません。

**大野** 日本語はかなだけでは間に合わない言語なのです。漢字というもうひとつのおまけを消化しないと、日本語は今日成り立たない。六万語の辞書があれば三万語は漢語なのです。半分は完全に中国語です。そして法律とか、社会のいろいろな関係のことはそういう単語を知らないで成り立たない。インドだと、いくらタミル人でもサンスクリットをぜんぜん知らないで高度な生活はできない。同じように、日本人は漢語を知らないでだめなのです。

だからG日本語をきちんとできない人が、いくら英語をやってもできるようにならない。日本語の文章がちゃんと書けない人が英語が書けるようになるはずがない。頭がきちんとできていないのだから。言語が書けるというのは、ただ上手に字が書けたとか、文章が上手だということではない。ちゃんと頭がそういうふうに書けるようになったときに文章が書けるのです。僕はこの年になってようやく、自分のよくわかったことだけ書くと他人によくわかるということがわかった(笑)。それはほんとうなんですよ。自分によくわかっていないことを書くと、他人もよくわからない。だから、学生にも言うのです。読んでわからない本があったら、君の頭が悪い場合もあるかもしれないが、たいていは相手が悪いんだよ。相手はよくわかってないことを書いているんだから、そんなに心配するなと言うのです。そういう立場からいうと、生半可な英語を少しばかり小さいときから勉強したって意味がないのです。

それから発音の組織が日本語はものすごく違うということを覚えなないとだめです。日本語のように母音が全部後ろにくっついてくる言語は、ヨーロッパだとスペイン語

など多少近いものもあるけれども、英語、ドイツ語、フランス語だったら最後にコンソナントがたくさんあって、日本語とはまったくちがう。私も高等学校ドイツ語の組だったものだから、英語の会話なんてちゃんと習ったことがなかった。六十になってからインドに行つて英語を使わなければならぬことに出会ったわけです。本を読むときは字引を脇にもつていれば古い本でも読める。だけど、実際に口で言わないとだめなわけだ。いちばん困つたのは、ホテルでお昼に中国料理を電話で注文する時に、何をもつてきてくれとうまく英語で言えないのです。だから、僕の泊まったホテルで、あれは日本の大学の先生だそうだが、ニセモノではないかと言われた(笑)。英語のできない大学の先生なんてインドでは考えられないわけです。

だけど、僕は思うのですが、インド人の英語はインド人英語といわれているぐらいで、それこそいろいろな発音があるし、そうとう乱暴なものだと思いました。ところが、ずうっと学者同士でつき合つていて、大事なことは、必要な時にイエスとか、ノーとか、どんな例を出すか、それで決まるのです。発音がどうだろうが関係ないので。第一、シラミとごはんが一緒に文脈で出てくるはずがないじゃないですか。ライス (Rice) だろうが、ライス (Rice) だろうが、お米の話でシラミが出てくるはずはないのだから、そんなに神経質になつてもしょうがない。

ただ、日英米人とやるときがいちばんいやですね。インド人とやるときは楽なんです。フランス人、ドイツ人も楽。アメリカ人とイギリス人がとても難しいですね。ちよつとまちがうと向こうは、この人間は馬鹿じゃないかという顔をする。それはたしかに僕らも、日本語をどのぐらい話すかというのを聞いていて人を判断するのだから、それはしょうがないです。

それよりも何よりも、どう判断する力をもっているか、物事をどうとらえているかが優先するのです。それをどんな形で言うか。言うときは簡単な形でいえればいい。だから、僕の英語は「イット・イズ」と「イット・ウィル・ビー」と「ノット」とそれつきりしかない。それで決まる。あとは名詞と動詞を入れていけばいい。

ほんとうに英語をやっておけばよかつたと正直いつて僕は思っていますよ。そうすれば僕だつてどんどん英語で論文を書いて、発表したり、議論したりできるわけですが、僕はできないから、非常に不利をこうむつている。これから先はたしかに学問をやろうと思つたら、英語ぐらいできないとだめだと思う。だから大学生で学問をやろうと思つているのに英語ができないのはだめだ。しかし、それを小学校からやるのが妥当かということについては疑わしい。教育のシステムとして全然整っていないからです。何の用意もない。

**上野** 英会話ができないということは、たぶん日本語の会話もそんなにできないのだと思います。ともかく日本語がきちんとできていなかったら絶対に英語がしゃべれるはずがないし、英語の読み書きもできないのです。まず国語の読み書きがきちんとできた上で外国語を学ぶようにすべきだと思います。

小さいときに英語をやるメリットは何かというと、発音がきれいになります。そのためには、英語を聞くことができればいいのだと思います。私の子どものころはほとんど生の英語なんて聞けることはありませんでしたが、いまはちよつとテレビをつけているだけで外国語が耳に入ってくると思いますね。だから、そんなに目くじらたてて小学校から英語という必要はないと思うのです。それよりも、その時間があるのだったら、国語をきちんとやるべきです。

**大野** 別に英語をやるなというつもりはないですよ。I日本語をやらなくて英語をやるのはだめだということです。アメリカで同時通訳をやっている日本人が、アメリカに来て英語が上手になる人は日本語が上手だし、日本語がちゃんと話せる人は英語も上手だと言っています。日本語があいまいな人は英語もだめだと、そう言っています。

**上野** もうひとつ、私はつねづね思うのですが、ヨーロッパとかアメリカは基本的には話すことが基本の文化ですね。それに対して漢字文化圏はどちらかというと書くほうの文化のような気がします。ですから日本人の外国語教育がまず読み書きになつたのは自然だと思うのです。けれども、話す文化圏のヨーロッパでも、ちゃんとした文章が書けるかということは大事なのです。

私の友人がドイツに行つて、病気になって医者にかからなければならなくなったのです。ドイツ語でうまくしゃべれないからといって、彼は一生懸命辞書を引いて、ドイツ語で文章を書いてもっていったのです。そうしたら医者が読んでびっくりして、これだけの文章が書けるのになぜおまえはしゃべれないのだと。アメリカへ行つても、おまえはこんなに文章が読めるのに、どうしてしゃべれないのだと言われるのでしょうか。

だから、Jほんとうに文化が違うのではない。向こうはしゃべって書く、日本とか中国はどちらかというと書いて、そのあとでしゃべるので、しゃべることに対してプライオリティが低かったのではないか。だから、日本人が外国語の会話が下手かどうか、文化的にそういう訓練をあまりしてこなかったということもあるのだろうと思います。

**大野** しゃべることよりも聞き取ることが大事だと思いますね。外国人と話してい

て相手がいつていることがわかれば返事は簡単です。返事はイエスカノーでいいのですからね。「アイ・アグリー」と言うか言わないかです。向こうの言っていることが何だかわからないのではどうにもしようがない。

**上野** たしかに聞き取るのがいちばん難しいのです。そのために訓練としては小学校から英語に慣れ親しむのは大事かもしれませんね。

**大野** その際、聞くといっても「こんにちは」、「さようなら」ばかりやっているわけではないから、文がちゃんとわかってなければだめなわけで、そういう観点からいうと、週に一時間勉強したって意味がないですよ。

**上野** それは無理です。三時間でも無理な話ですね。

\*本書は二〇〇一年一月に発行された。

(大野晋 上野健爾「学力があぶない」所収「英語教育をどうするか」より)

問〇一 傍線部A「漢文というやつかいなもの」の話の紹介は話の運びの中でどのような役割を果たしているか。最も適当なものを選べ。

- ① 漢文の読解が日本人にとってどれほどの苦労があったかを述べるため
- ② 漢文を読解するために日本人は独特の読み方を発明したことを述べるため
- ③ 英語を学ぶには大変な努力が要求されるということを述べるため
- ④ 英語が現代日本人にとっては極めて重要であることを示すため

問〇二 傍線部B「ドイツ人が英語をやる」ことを挙げたのは何故か。最も適当なものを選べ。

- ① 英語学習者には母語が対象言語と近縁関係にあるドイツ語を母語とする者や全く系統が異なる日本語のような言語を母語とする学習者やや近い関係にある中国語を母語とする学習者がいることを指摘するため
- ② 言語的に英語と近縁関係にあるドイツ語を母語とする学習者の英語の勉強時間数と同じ時間数で日本の小学校の英語教育の効果が上がるわけがないので、その時間数を増やすべきであると主張するため

③ 言語的に英語と類縁関係にあるドイツ語を母語とする学習者が母語の勉強時間を多く持つことはそれが英語の勉強に直結するので合理性があるということを指摘するため

④ 言語的に英語と類縁関係にあるドイツ語を母語とする学習者でも母語の勉強時間は英語のそれよりも多いのに日本では日本語の勉強時間を削って英語の勉強時間を増やそうとする方策をとっていることを批判するため

問〇三 傍線部C「得意げ」の品詞は何か。漢字で答えよ。

問〇四 傍線部D「英会話教育をやったからといってしゃべれるようになるというのは少し違うような気がします」とあるが、英会話の能力についての上野氏の認識はどのようなものか。最も適当なものを選べ。

① 国際会議での見聞や自分自身の体験などから会話能力はそれぞれの国の学習方法によって身に付けるべきものだと認識している

② ドイツでは自国語の学習に外国語の学習以上に時間をとっているのに、日本では英語のあいさつができれば十分だという認識

③ 時流に乗って英会話学習の目的を考えるのではなく過去の文化的つながりを考えて中国語会話を学習すべきであるという認識

④ 母語である日本語ができない日本人がどんなに英語の会話を身につけようとしても十分な会話能力を身につけることは出来ないという認識

問〇五 傍線部E「国際的な学会にいけば、ほとんどの場合は英語でお互いに意思を通じさせる」とあるが、これは英語のどのような様態を指摘する発言か。

① 英語は世界の共通言語であって、すでにそれが現実となっている

② 日本語なまりで英語を話すのは恥ずかしいと日本人は思う必要はない

③ 国際的な場で使われる英語であるが国によって英語に対する態度は異なる

④ 話し言葉の基礎になっている英語の文字言語の学習こそ大事である

問〇六 傍線部F「英語である必要はない」のは何故か。最も適当な説明を選べ。

- ① そもそも外国語学習の成否は母語の言語能力の高低にかかっているから英語学習以上の情熱をもって母語の学習に取り組むべきであるから
- ② 国際的な会議に参加している色々な国の人の話す英語を聞くと「英語は英語国民の言葉」という認識は既に過去のものだと思感される
- ③ 外国語学習が異文化理解を目的とするものなら理解しようとする異文化の言語を学ぶことが外国語学習の目的に合うことになるから
- ④ 言葉はその言葉が話される国の力との関係で学習者の数が増減するが、アメリカがロシアや中国に取って代わられる日が近く来るから

問〇七 傍線部G「日本語をきちんとできない人」とはここではどういうことか。最も適当な説明を選べ。

- ① 漢詩漢文の知識が不十分なため日本語の中にある中国由来の漢字熟語などが正しく読めない日本人
- ② 敬語等の日本の言語生活に係る文化についての理解が薄弱で日本語会話が十分にできない日本人
- ③ 「源氏物語」など日本の古典文学の知識を持たず、教養ある日本語を書くことが満足にできない日本人
- ④ 日本語の運用能力を左右する漢語の知識に不足があるため日本語の読み書きに堪能とは言えない日本人



問〇八 どうして傍線部H「英米人とやるときがいちばんいや」なのか。最も適当な説明を選べ。

- ① 英語が母語である英米人は発音の訛音に敏感で大野氏が話す英語を不自然に感じそれが否定的な表情として顔に出るから
- ② 言語的な系統がドイツ語やフランス語とは異なる英語を母語とする英米人には大野氏の使う英語が上品に聞こえるから
- ③ アメリカとの戦争を経験した世代に属する大野氏は敵性語と呼ばれた英語への違和感・距離感が心のどこかにあるから
- ④ 英語とは言語的に全く異質な言語である日本語を好意的に受け入れる素地が英米人には欠けているから

問〇九 傍線部I「日本語をやらないで英語をやるのはだめだ」とあるが、これはどうしてか。最も適当な説明を選べ。

- ① 日本人が母語である日本語を学ぶことは急速に国際化する世界で自己のアイデンティティの自覚を強める確かな手掛かりとなるから
- ② 現在英語が世界共通の言語であることは国際会議などでも見聞できるが、将来日本語が国際語になる可能性もないとはいえないから
- ③ 書き言葉・話し言葉ともに日本語がしつかりと身につけていて初めて第二言語以降の言語習得の努力も成果があがると考えられるから
- ④ 日本語がよくできる人は英語も上手になり、日本語があいまいな人は英語もあまり上達しないと同時通訳の経験ある日本人がいうから

問一〇 傍線部J「ほんとうに文化が違うのではない」とあるが、ここで「文化が違うのではない」とはどういうことを指しているのか。最も適当なものを選べ。

- ① どちらの文化も書くことの重要性を認めている点では違いがないということ
- ② どちらの文化も話すことの重要性を認めている点では違いがないということ
- ③ 欧米の文化は話したことを記録するという意識で書く事を考えるということ
- ④ アジアの文化は書いて記録に残すことを最も優先する傾向が強いということ

問一一 本文の対談者は両者共に（対談当時の）小学校英語授業の実施には反対の立場である。どうして反対なのか、その理由として対談者の考えにはないと考えられるものはどれか。次の中からひとつ選べ。

- ① 現場の教諭の英語力で小学校の英語教育が満足に行えるか調査不足である
- ② 日本語を教える時間を削って英語の授業を行おうとしている
- ③ 子供の時から学校で英語授業をしても望み通りのバイリンガルにはならない
- ④ 小学生から英語を学ぶと国際語としての英語ではなく英米人の英語になる

三二 二の課題文の対談者はそれぞれ（大野）「日本語をきちんとできない人が、いくら英語をやってもできるようにならない。日本語の文章がちゃんと書けない人が英語がかかるようになるはずがない。」（上野）「日本語がきちんとできていなかったら絶対に英語がしゃべれるはずがないし、英語の読み書きもできないのです。」（大野）

「アメリカに来て英語が上手になる人は日本語が上手だし、日本語がちゃんと話せる人は英語も上手だと言っています。日本語があいまいな人は英語もだめだと、そう言っています。」といい、ともに「英語（外国語）を習得する上で日本語（母語）の確かな能力が非常に大事である」と述べている。これについてあなた自身はどの

ような意見を持っているか、賛成、または反対の立場から自分の意見を述べなさい。その時書き方は「自分の賛成、または反対の意見」↓（その意見の裏付けとなる事実）↓（その事実についての考察）↓（結び）」という順序に従いなさい。字数は全部で一〇〇〇字程度。（解答は原稿用紙に記入のこと）